

## 別海町の農業・農村振興にかかる消費者アンケート集計結果

### 1. アンケート調査の目的

別海町では、将来にわたって持続的で多様な農業経営と魅力ある農村環境の確立に向け、平成28年7月に「別海町農業・農村振興計画」を策定し、令和4年3月に中間年の見直しを経て、本町農業及び農村環境の現状、国や北海道の情勢変化等を踏まえて、このたび新たな「別海町農業・農村振興計画」を策定することとしました。

つきましては、本町の農業・農村に関する町民の率直な声を聞き、現状の課題や将来展望を把握することを目的とし、農業経営者をはじめ町内全世帯を対象としてアンケート調査を実施しました。

(注)アンケート調査は、農業者と消費者に分けて実施しており、本結果は消費者アンケートのみを対象としている。

### 2. 消費者用アンケート実施期間

令和7年11月1日 ～ 12月31日

### 3. 消費者用アンケートの実施方法

- ・町ホームページ、広報べつかいへの掲載、町内各種団体(\*)を通じた直接配布
- ・農業者以外、日本人、18～74歳から無作為に抽出した世帯

[ \*町役場・根室家畜保健衛生所・根室農業改良普及センター・根室地区農業共済組合  
農業協同組合・漁業協同組合・別海町商工会 ]

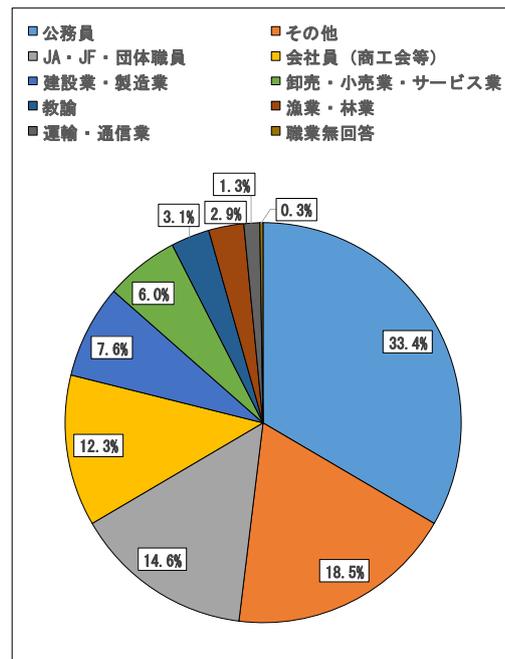
### 4. 消費者用アンケート回答者の構成

回収部数 383件

世帯主の職業は、公務員が33.4%、JA・JF・団体職員が14.6%を占めている。

その他の中に農業者が含まれており、一部農業者アンケートと重複する項目もあるが、消費者の立場に立った意見として集計の対象とした。

世帯主の職業	回答数	回答割合
漁業・林業	11	2.9%
建設業・製造業	29	7.6%
運輸・通信業	5	1.3%
卸売・小売業・サービス業	23	6.0%
公務員	128	33.4%
JA・JF・団体職員	56	14.6%
会社員（商工会等）	47	12.3%
教諭	12	3.1%
その他	71	18.5%
職業無回答	1	0.3%
総計	383	100%



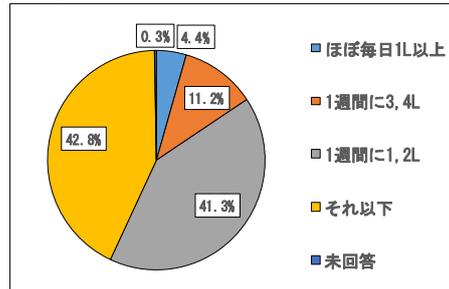
## 5. 集計結果の概要

### I 牛乳・乳製品の消費について

#### 1 乳製品の消費状況について

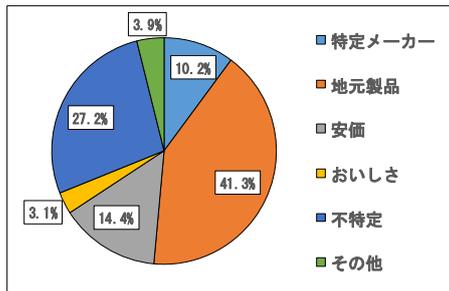
(1)ご家庭で牛乳をどれぐらい飲んでいきますか。

家庭での牛乳消費量	回答数	回答割合
ほぼ毎日1L以上	17	4.4%
1週間に3, 4L	43	11.2%
1週間に1, 2L	158	41.3%
それ以下	164	42.8%
未回答	1	0.3%
総計	383	100%



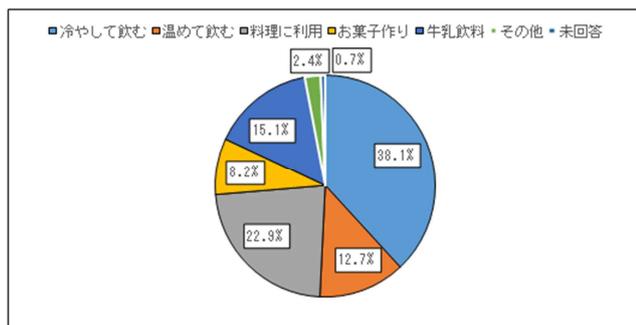
(2)どのような牛乳を飲んでいきますか。

牛乳の選択基準	回答数	回答割合
特定メーカー	39	10.2%
地元製品	158	41.3%
安価	55	14.4%
おいしさ	12	3.1%
不特定	104	27.2%
その他	15	3.9%
飲まない	4	1.0%
低脂肪	1	0.3%
自家生産	1	0.3%
福祉牛乳	1	0.3%
未記入	8	2.1%
総計	383	100%



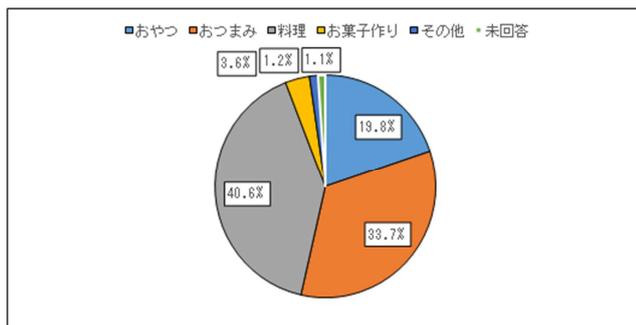
(3)ご家庭で牛乳をどのように消費しますか。

牛乳の消費方法	回答数	回答割合
冷やして飲む	291	38.1%
温めて飲む	97	12.7%
料理に利用	175	22.9%
お菓子作り	63	8.2%
牛乳飲料	115	15.1%
その他	18	2.4%
未回答	5	0.7%
総計	764	100%



(4)ご家庭でチーズをどのように消費しますか。

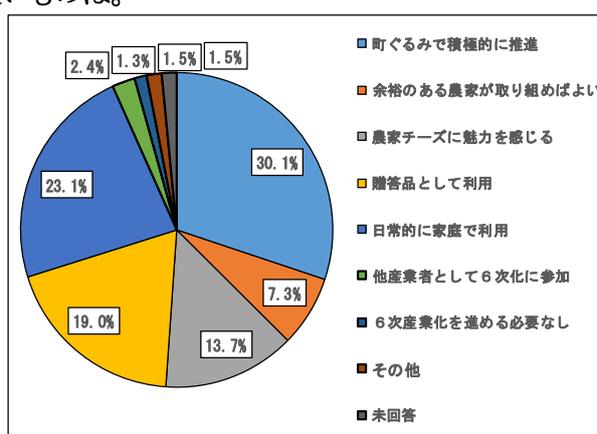
チーズの消費方法	回答数	回答割合
おやつ	128	19.8%
おつまみ	218	33.7%
料理	262	40.6%
お菓子作り	23	3.6%
その他	8	1.2%
未回答	7	1.1%
総回答数	646	100.0%



2 別海町は農業・農村の6次産業化を推進すべきであると考えています。基幹産業の振興や消費者ニーズといった観点から考えを伺います。

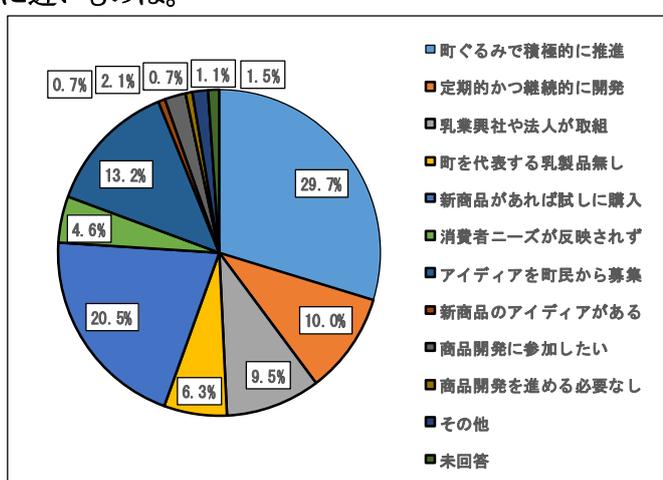
(1) チーズの生産・販売について、ご自身の考えに近いものは。

チーズの生産販売	回答数	回答割合
町ぐるみで積極的に推進	215	30.1%
余裕のある農家取り組みばよい	52	7.3%
農家チーズに魅力を感じる	98	13.7%
贈答品として利用	136	19.0%
日常的に家庭で利用	165	23.1%
他産業者として6次化に参加	17	2.4%
6次産業化を進める必要なし	9	1.3%
その他	11	1.5%
未回答	11	1.5%
総数	714	100.0%



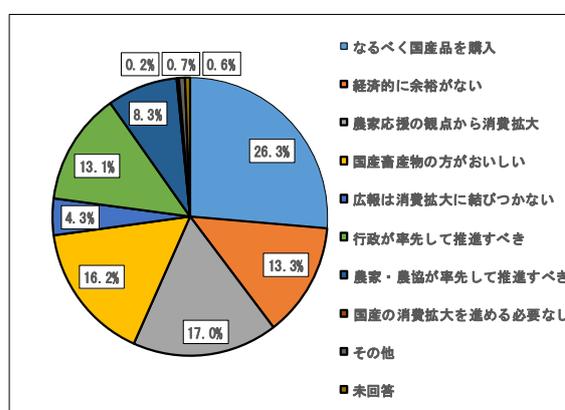
(2) 乳製品の商品開発について、ご自身の考えに近いものは。

乳製品の商品開発	回答数	回答割合
町ぐるみで積極的に推進	213	29.7%
定期的かつ継続的に開発	72	10.0%
乳業興社や法人が取組	68	9.5%
町を代表する乳製品無し	45	6.3%
新商品があれば試しに購入	147	20.5%
消費者ニーズが反映されず	33	4.6%
アイデアを町民から募集	95	13.2%
新商品のアイデアがある	5	0.7%
商品開発に参加したい	15	2.1%
商品開発を進める必要なし	5	0.7%
その他	11	1.5%
未回答	8	1.1%
総数	717	100.0%



3 別海町は牛乳や乳製品等の国産畜産物の消費拡大を推進しています。国産畜産物の消費拡大について、ご自身の考えに近いものは。

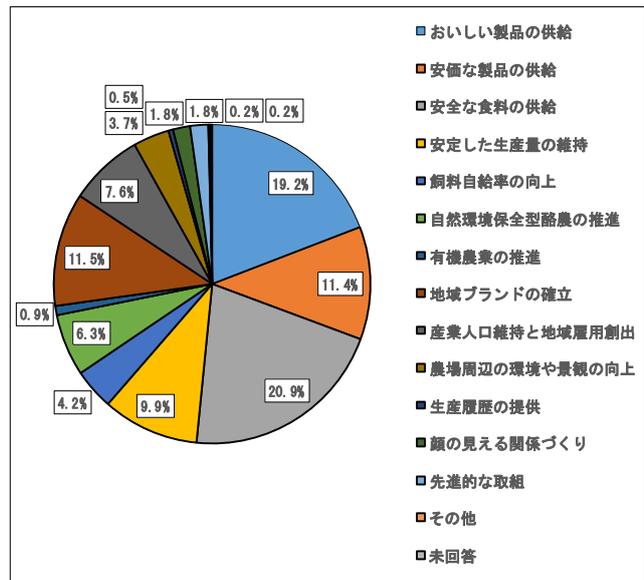
国産畜産物の消費拡大	回答数	回答割合
なるべく国産品を購入	223	26.3%
経済的に余裕がない	113	13.3%
農家応援の観点から消費拡大	144	17.0%
国産畜産物の方がおいしい	137	16.2%
広報は消費拡大に結びつかない	36	4.3%
行政が率先して推進すべき	111	13.1%
農家・農協が率先して推進すべき	70	8.3%
国産の消費拡大を進める必要なし	2	0.2%
その他	6	0.7%
未回答	5	0.6%
総数	847	100.0%



## II 酪農・畜産業について

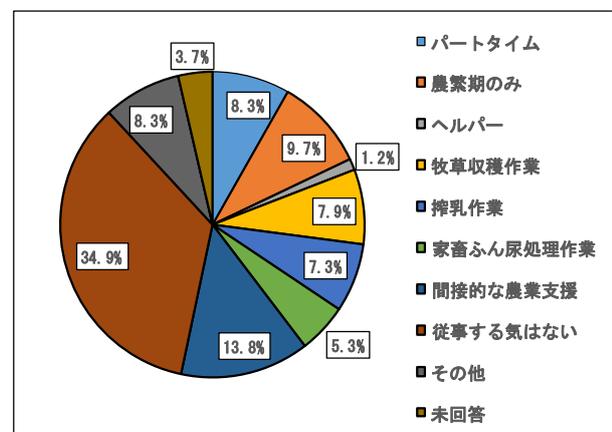
1 別海町では以下のような事項を町の農業の役割・課題として考えています。消費者あるいは町民として、この中で特に重要だと思うものは。

町農業の役割	回答数	回答割合
おいしい製品の供給	208	19.2%
安価な製品の供給	124	11.4%
安全な食料の供給	227	20.9%
安定した生産量の維持	107	9.9%
飼料自給率の向上	45	4.2%
自然環境保全型酪農の推進	68	6.3%
有機農業の推進	10	0.9%
地域ブランドの確立	125	11.5%
産業人口維持と地域雇用創出	82	7.6%
農場周辺の環境や景観の向上	40	3.7%
生産履歴の提供	5	0.5%
顔の見える関係づくり	19	1.8%
先進的な取組	20	1.8%
その他	2	0.2%
未回答	2	0.2%
総数	1,084	100%



2 近年、農家戸数の減少や高齢化が深刻となっており、将来的には別海町全体で基幹産業を支える取組が必要になるのではないかと考えています。町内農業への参加について、ご自身の考えに近いものは。

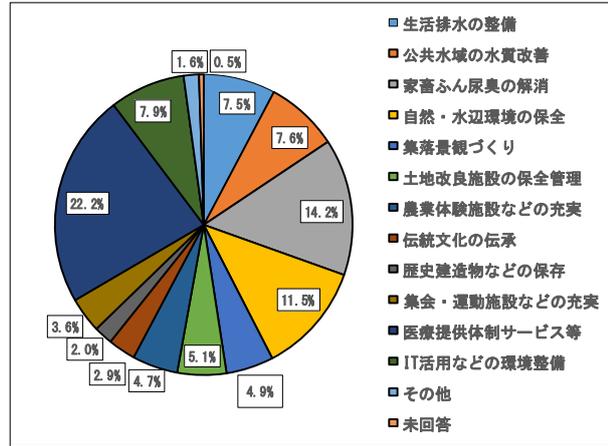
町農業への参加	回答数	回答割合
パートタイム	41	8.3%
農繁期のみ	48	9.7%
ヘルパー	6	1.2%
牧草収穫作業	39	7.9%
搾乳作業	36	7.3%
家畜ふん尿処理作業	26	5.3%
間接的な農業支援	68	13.8%
従事する気はない	172	34.9%
その他	41	8.3%
未回答	18	3.7%
総数	493	100.0%



### Ⅲ 農村づくりについて

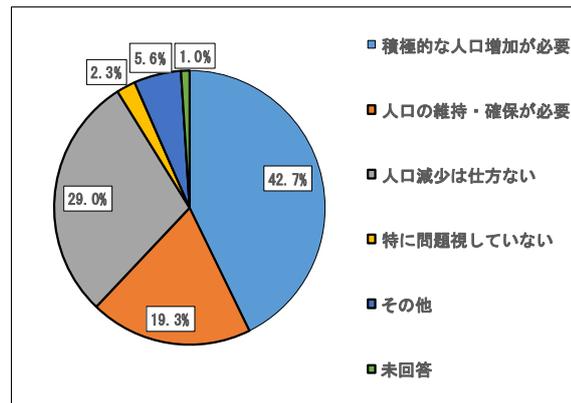
#### 1 別海町の生活環境に対する取組について、優先すべきだと思うものは。

生活環境に対する取組	回答数	回答割合
生活排水の整備	76	7.5%
公共水域の水質改善	77	7.6%
家畜ふん尿臭の解消	144	14.2%
自然・水辺環境の保全	117	11.5%
集落景観づくり	50	4.9%
土地改良施設の保安全管理	52	5.1%
農業体験施設などの充実	48	4.7%
伝統文化の伝承	29	2.9%
歴史建造物などの保存	20	2.0%
集会・運動施設などの充実	37	3.6%
医療提供体制サービス等	225	22.2%
IT活用などの環境整備	80	7.9%
その他	16	1.6%
未回答	5	0.5%
総数	1014	100.0%



#### 2 別海町の人口は減少傾向が続いています。人口動向についてご自身の考えに近いものは。

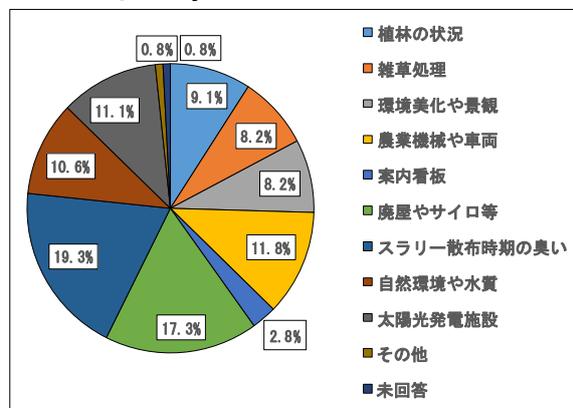
人口動向	回答数	回答割合
積極的な人口増加が必要	168	42.7%
人口の維持・確保が必要	76	19.3%
人口減少は仕方ない	114	29.0%
特に問題視していない	9	2.3%
その他	22	5.6%
未回答	4	1.0%
総数	393	100.0%



#### 3 食品の安全確保という観点から、生産物だけでなく、生産する農場の環境に対しても関心が高まっているところです。

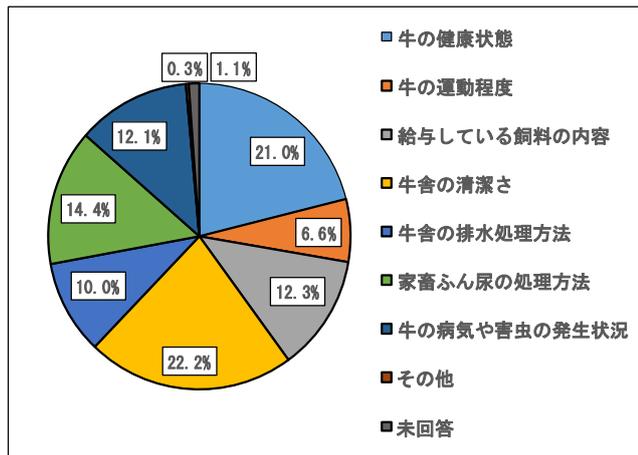
##### (1) 別海町内の農場周辺の環境や景観について、関心があるものは。

農場周辺の環境・景観等	回答数	回答割合
植林の状況	87	9.1%
雑草処理	78	8.2%
環境美化や景観	78	8.2%
農業機械や車両	113	11.8%
案内看板	27	2.8%
廃屋やサイロ等	165	17.3%
スラリー散布時期の臭い	184	19.3%
自然環境や水質	101	10.6%
太陽光発電施設	106	11.1%
その他	8	0.8%
未回答	8	0.8%
総数	955	100%



(2) 生乳の生産環境について、関心があるものは。

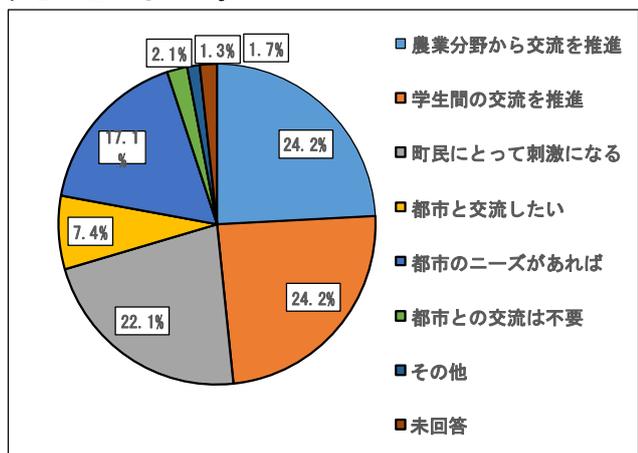
生乳の生産環境	回答数	回答割合
牛の健康状態	209	21.0%
牛の運動程度	66	6.6%
給与している飼料の内容	122	12.3%
牛舎の清潔さ	220	22.2%
牛舎の排水処理方法	99	10.0%
家畜ふん尿の処理方法	143	14.4%
牛の病気や害虫の発生状況	120	12.1%
その他	3	0.3%
未回答	11	1.1%
総数	993	100%



4 都市・農村交流は、地域間の互いの理解が深まるとともに、地域住民が地域の良さを再発見することができ、まちづくりに活かされることが期待されます。

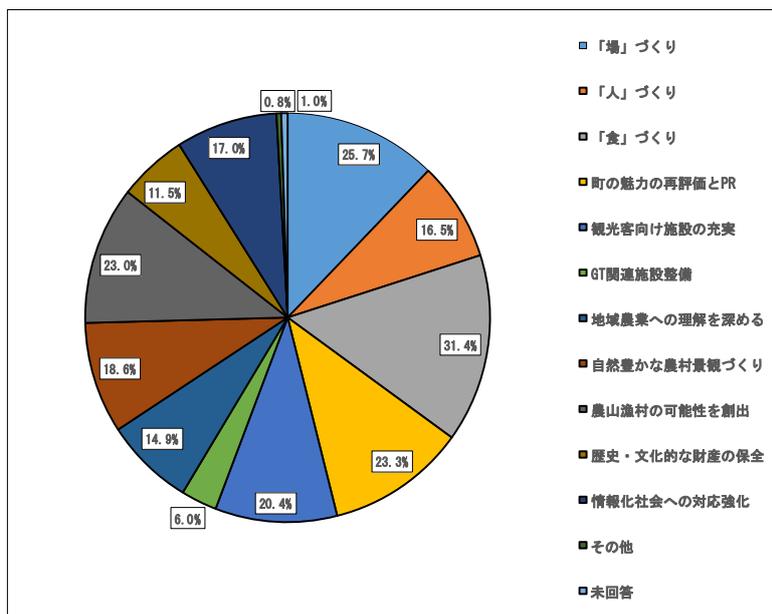
(1) 別海町は、農漁業体験型観光や修学旅行受入等、町全体で都市・農村交流を推進すべきであると考えています。都市との交流についてご自身の考えに近いものは。

都市農村交流の推進	回答数	回答割合
農業分野から交流を推進	153	24.2%
学生間の交流を推進	153	24.2%
町民にとって刺激になる	140	22.1%
都市と交流したい	47	7.4%
都市のニーズがあれば	108	17.1%
都市との交流は不要	13	2.1%
その他	8	1.3%
未回答	11	1.7%
総数	633	100.0%



(2) 別海町の都市・農村交流の推進に向けて次のような取組が考えられますが、各取組について必要だと思う、ご自身の考えに近いものは。

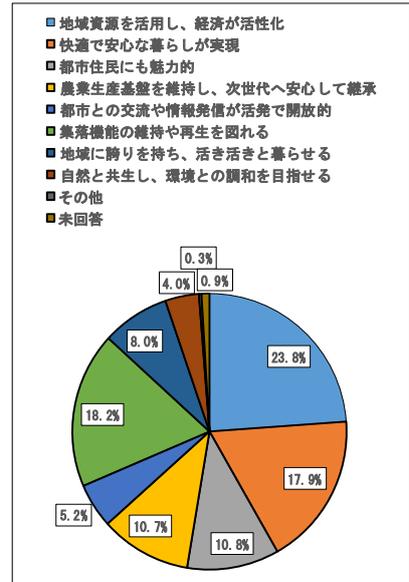
都市農村交流の取組	回答数	回答割合
「場」づくり	98	25.7%
「人」づくり	63	16.5%
「食」づくり	120	31.4%
町の魅力の再評価とPR	89	23.3%
観光客向け施設の充実	78	20.4%
GT関連施設整備	23	6.0%
地域農業への理解を深める	57	14.9%
自然豊かな農村景観づくり	71	18.6%
農山漁村の可能性を創出	88	23.0%
歴史・文化的な財産の保全	44	11.5%
情報化社会への対応強化	65	17.0%
その他	3	0.8%
未回答	4	1.0%
総数	382	100%



#### IV 農村づくりの将来方向について

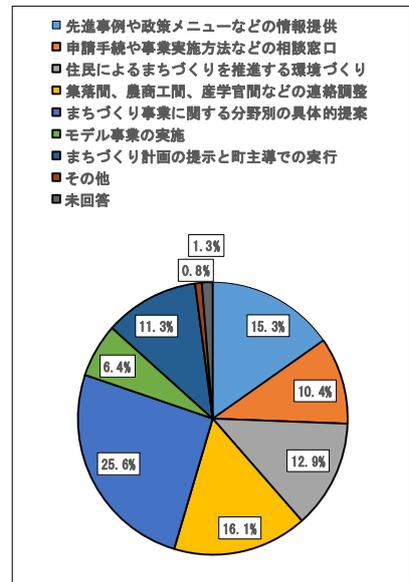
##### 1 魅力ある農村づくりに向け、別海町として目指すべきだと思う事項は。

農村づくりの方向性	回答数	回答割合
地域資源を活用し、経済が活性化	233	23.8%
快適で安心な暮らしが実現	175	17.9%
都市住民にも魅力的	106	10.8%
農業生産基盤を維持し、次世代へ安心して継承	105	10.7%
都市との交流や情報発信が活発で開放的	51	5.2%
集落機能の維持や再生を図れる	178	18.2%
地域に誇りを持ち、活き活きと暮らせる	78	8.0%
自然と共生し、環境との調和を目指せる	39	4.0%
その他	3	0.3%
未回答	9	0.9%
総数	977	100%



##### 2 よりよいまちづくりを進めるために行政に期待する役割は。

行政の役割	回答数	回答割合
先進事例や政策メニューなどの情報提供	131	15.3%
申請手続や事業実施方法などの相談窓口	89	10.4%
住民によるまちづくりを推進する環境づくり	111	12.9%
集落間、農商工間、産学官間などの連絡調整	138	16.1%
まちづくり事業に関する分野別の具体的提案	220	25.6%
モデル事業の実施	55	6.4%
まちづくり計画の提示と町主導での実行	97	11.3%
その他	7	0.8%
未回答	11	1.3%
総数	859	100.0%

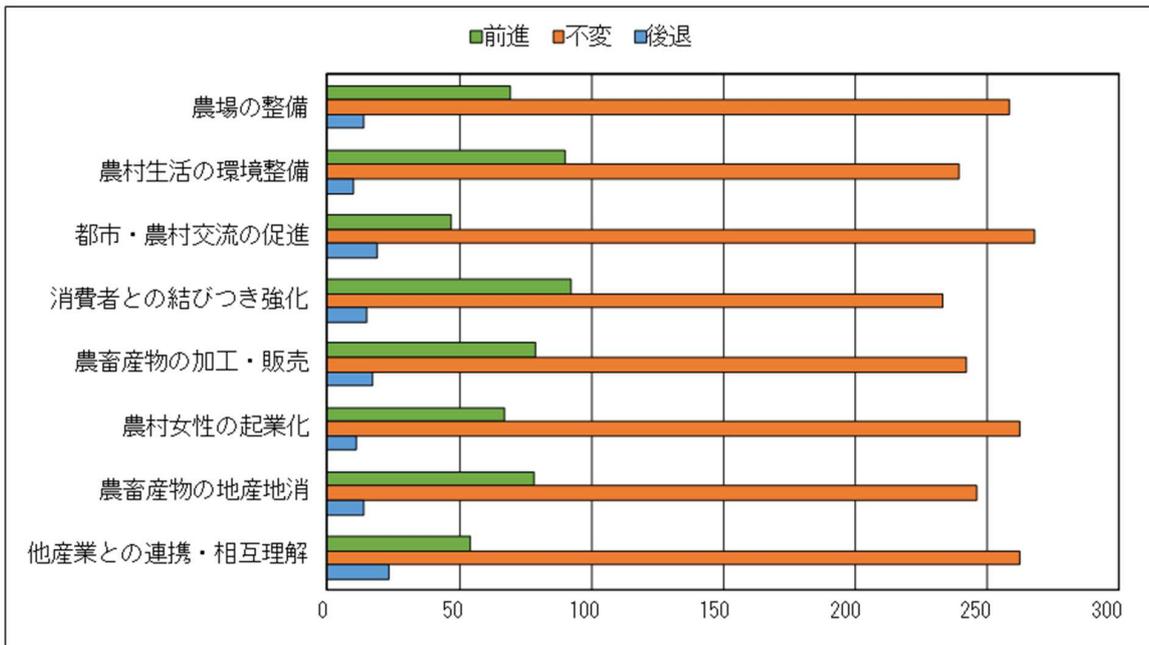


令和3年から令和7年までの5年間の取組状況を評価するとともに、別海町で満足度の高い生活を送るために、今後5年間で重点的に取り組むべきだと思う事項について、ご自身の考えに近いものは。

##### 1 農村づくり(生活環境・景観形成)、消費者や他産業等との連携や交流

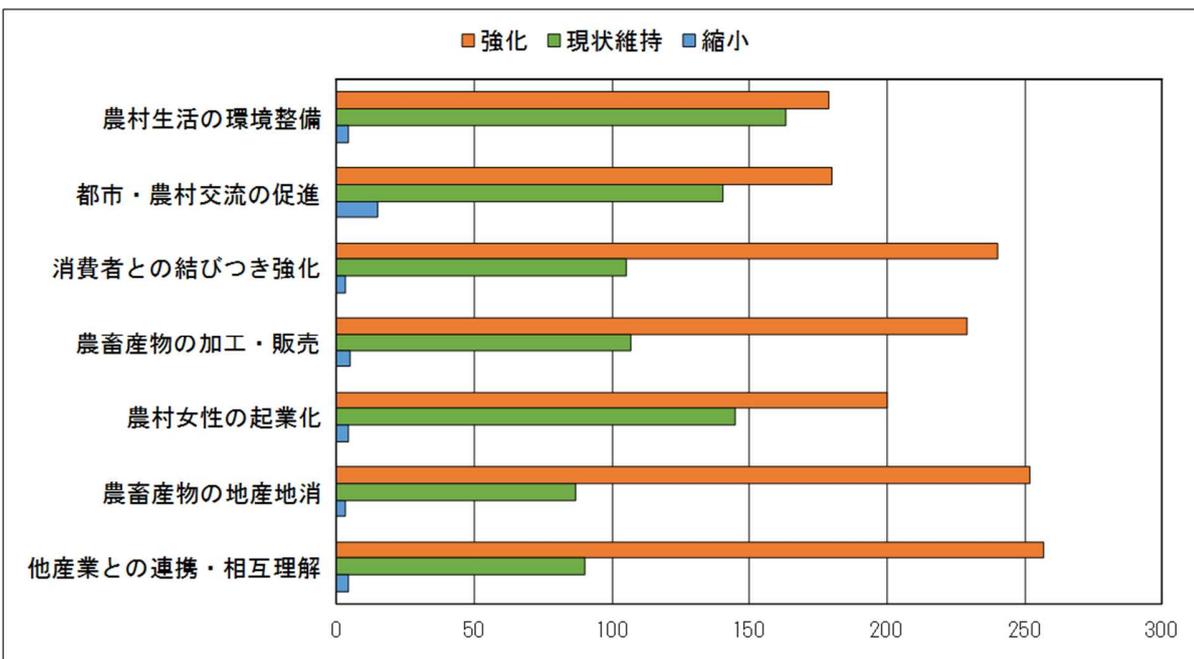
###### R3～R7の取組評価

今までの取り組み	評価			回答数 合計	未回答
	前進	不変	後退		
農場の整備	69 (20%)	258 (76%)	14 (4%)	341	42
農村生活の環境整備	90 (27%)	239 (71%)	10 (3%)	339	44
都市・農村交流の促進	47 (14%)	268 (80%)	19 (6%)	334	49
消費者との結びつき強化	92 (27%)	233 (69%)	15 (4%)	340	43
農畜産物の加工・販売	79 (23%)	242 (72%)	17 (5%)	338	45
農村女性の起業化	67 (20%)	262 (77%)	11 (3%)	340	43
農畜産物の地産地消	78 (23%)	246 (73%)	14 (4%)	338	45
他産業との連携・相互理解	54 (16%)	262 (77%)	23 (7%)	339	44



今後の取組方向

今後の取組	方向			回答数 合計	未回答
	強化	現状維持	縮小		
農場の整備	174 (51%)	167 (49%)	2 (1%)	343	40
農村生活の環境整備	179 (52%)	163 (47%)	4 (1%)	346	37
都市・農村交流の促進	180 (54%)	140 (42%)	15 (4%)	335	48
消費者との結びつき強化	240 (69%)	105 (30%)	3 (1%)	348	35
農畜産物の加工・販売	229 (67%)	107 (31%)	5 (1%)	341	42
農村女性の起業化	200 (57%)	145 (42%)	4 (1%)	349	34
農畜産物の地産地消	252 (74%)	87 (25%)	3 (1%)	342	41
他産業との連携・相互理解	257 (73%)	90 (26%)	4 (1%)	351	32



## VI ご意見

### 1 アンケートに関する意見

- ・ 未来の別海町の為広くアンケートを実施してすごいと思います。私は病気で障害者になってしまいました。でも陰ながら応援してるんで頑張ってくださいね。

### 2 農業に関する意見

- ・ 都会の人々が抱いている酪農へのイメージを現在の大型化・高秘乳化は否定してしまった。
- ・ 農家の牛の多頭化に伴い人手不足と作業項目が増えここで問題視している理想論には参加することはできない。「ゆとり」とは程遠い現実が今の状態です。
- ・ 大規模な観光や体験ができる施設の拡大と消費者への直接的なPRの拡大をしていき、住む町、来る町、働く町として充実させて欲しい。
- ・ 自分の仕事との兼ね合いもあるが、(7)のような内容なら手伝うこともできるかもしれない。
- ・ 町内の牛乳を飲み続ける
- ・ 都会の若い人に酪農業の魅力を紹介
- ・ 都会の若者に酪農を体験してもらえ農場の充実
- ・ 農場等において、排出される洗浄水や治療牛への薬剤等の汚染排出乳の適正な処理。

### 3 特産品に関する意見

- ・ 町民・町外に対しても買いやすい価格帯(チーズ)
- ・ 毎日使える価格で(乳製品)
- ・ チーズの生産・販売は情熱を持ち、しっかり学んだ者が一生かけて行う仕事だと思う。
- ・ 近い答えがありませんでした。(乳製品)
- ・ 安価で提供してほしい(チーズ)
- ・ 中高生のフレッシュなアイデアを取り入れたらいいと思う(乳製品)

### 4 自然・生活環境に関する意見

- ・ 別海町だけでなく全国的に見ても太陽光発電の設備により元からある自然景観が失われつつありとても悲しい。今は必要で建設してもその何年後の費用は？そうしてしまった土地は？元に戻すのに何年～何十年とかかる。
- ・ メガソーラー設置に関わる土地開発の規制、自然環境・景観の保護のため
- ・ ⑦に近いもので、高齢者等でも協力できることがあれば。例)農繁期の弁当の配達(昼・夕食)、弁当作り等、町内の通院・買い物等の送迎。
- ・ 体が不自由なため働けない
- ・ 家畜ふん尿の臭いを改善してほしい
- ・ 別海は独特な臭いがするので
- ・ 誘致に金を使わず別海に住みやすくするだけで人口流出は減るし、移住者も増える。町営住宅が高く子育てに向かない。

### 5 施設に関する意見

- ・ 別海には農産物直売所がないので建ててほしいです。地元野菜を安価に購入できると、より嬉しいで
- ・ 道の駅を街中に作ってください。町民も買い物をしたりソフトクリームとかも食べたい。海産物(ホタテ、シマエビ)なども買いたい。

### 6 行政・施策に関する意見

- ・ 高校の野球チームへ寄付できるのであれば、もっと酪農家の方々が町へ貢献されてきている高齢者たちにもっと福祉の充実を図るようにしてほしいです。気候変動に伴う猛暑や厳冬に直面している高齢者はエアコン等は買えません。また、野生生物による交通事故や死傷も絶えません。もっと本腰を入れて対策の実践を望みます。
- ・ 役場職員としてというか町民として地域産業などの理解、また参加協力が少なすぎる。もっと幼少中高生などを引っ張って行政が動くこと。なんとしても多くの町民が基幹産業の理解が悪い。ので、行政の方々ももっと足と目と耳を使ってほしい。

- ・地域経済活動の主体がJAであることを考える、これらのことはJAを動かす、JAにも動いてもらう必要があると思う。
- ・みなくると牛乳消費の小学生のポスターが並んでいた。(昨年?)驚いたのは牛乳のパックが中心でチーズ等の絵がなかったことだった。牛乳は飲むものというのはJA青年部のアピールでも現行の乳価制度では仕方がないことと理解できるが、必要なのは教育と啓蒙と情報提供が必要だと思います。生産者の維持・集落の維持に、長男だけでなく、長女、次男、次女が地元で生活する道を創ることに生産者と自治体がともに動くのがいいと思います。
- ・関東地方に姉妹都市、交流
- ・物を開発するとなると時間のかかることなので今これだけ人口が減っている現状でできるものなのでしょう。別海はなにをやるにも遅すぎます。他の町、例えば大空町の芝桜公園、滝上町などは何十年前前から取り組み、人を呼び寄せる行動を起こしています。
- ・牛への虐待防止、通報窓口設置

## 7 その他に関する意見

- ・私たちの町の発展に努力されていることに感謝いたします。
- ・農業を営んでいる方々に感謝しているが、一部、常識が欠けている者がいる。町がやるべきことではないかもしれないが、マナー、ルールを守る人を多くする試みが必要だと感じる
- ・とにかく町民の人口を増やすことが大切だと思います。単身赴任でなく家族がみんなで安心して暮らせる町になることが大切だと思います。そのひとつが教育だと思うのです。子どもたちが安心して学べる地域安心して進学したり就職したりできる地域を作ることが大切だと思うのです。別海町の若者には一度ほかの地域にて生活したとしてもいつかは別海町に戻ってきて生活してもらえとうれしいです。
- ・レストラン等起業するにしても訪れる客数ははたしてそれで生活できるほどの客数になるかは、はなはだ疑問が残ります。旅行、訪問に来る観光客を誘致できる物、場所を確保できない限りは一次産業ばかり伸びたとしても三次産業は伸びる要素は今のところ見当たらない。なので6次産業を目指すのであれば販売、サービスに係る販路を今まで以上に力を入れて開拓しなければならない。
- ・定住をしようとする人にとって住みやすい環境を、補助金等を利用して補てん等してほしい。特に、寒暖対策や地域と馴染むことができず街を離れていく人がいる。
- ・別海町は人口よりも牛の数が多くいますが、別海の牛肉はどうして出てこないのか不思議です。牛乳のほうの主なのはわかりますが…
- ・別海町はなにが有名なんだろうかと思います。広大な土地はありますが、牛もたくさんいますが、今、世界中の環境が変わりつつあり、取れるものが変わってきてます。今、世の中が豊かすぎてお金を出せば手に入る時代になり考えることをしなくなっています。
- ・私はこの別海町で50数年間過ごしてまいりました。子育てをし、就職させ結婚し、その子供たちもみな別海町で生活しております。他の地域に住んだことがありませんが、一番好きな町だと思っています。今の子供たちはこの別海町のいいところを見ないで都会に出ていきます。都会くらい住みずらいところはないと思うのですが、一度は出てみたいのだと思います。職員さんも別海町のために一生懸命頑張ってくださいよろしくお願いいたします。

たくさんのご貴重なご意見ありがとうございました。